

施策 4-7 公共交通網の充実

【現状と課題】

高齢化社会の進行や環境負荷を抑えるという視点から、公共交通機関の果たすべき役割は、今後、ますます高まってくるものと思われます。

本町においては、平成18年10月に町内一円をカバーしていた民間の地方バス路線事業者が本町での路線運行を廃止したことによって、高齢者や児童・生徒の通勤、通学あるいは通院等のための足を確保する必要から、町民バス等の運行を開始しました。今後は、各路線の利用動向を注視しながら、利用者のニーズに対応した運行に努めていく必要があります。

また、都市圏からの観光客の受け入れや都市圏への外出機会の充実を図るため、J R 気仙沼線の快速列車の増便についても関係機関に対し、求めていくことが必要となっています。

【基本事業】

4-7-1 道路運送の充実

町民バスや乗合タクシーなどの運行により交通弱者の交通手段を確保し、買い物や通院、通学の利便性の向上を図るとともに、生活上の安心感と快適性の向上に努めます。

4-7-2 鉄道輸送の充実

鉄道輸送を充実することにより、買い物や通院、通学の利便性の向上を図るとともに、観光客の誘致促進を図ります。

基本事業	主要事務事業
道路運送の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民バス運行事業 ・ 乗合タクシー運行補助事業 ・ スクールバス運行委託事業 ・ 学童輸送委託事業
鉄道輸送の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 志津川駅業務運営費補助事業 ・ J R 歌津駅乗車券簡易発売所運営費補助事業 ・ 県鉄道整備促進期成同盟会運営事業

施策 4-8 安全で安定した水の供給

【現状と課題】

本町は、その地形的特性から水資源のほとんどが町域内の森林によって涵養されており、安全で安定した水を供給するためには、森林の適正管理が不可欠となっています。

さらに、水資源を各世帯、各事業所等に供給している本町の上水道については、94.4%の普及率となつてはいるものの、平成17年度末の石綿セメント管残延長は、全管延長の11.4%、約21kmとなっており、耐震性の確保や漏水対策が今後の課題となっています。

また、志津川地区の水管橋は経年劣化による腐食が著しいことから、漏水が頻繁に発生しており、災害時を想定した場合に、早急な改善が必要となっています。さらに、各種インフラ整備事業に合わせた先行投資的事業としての志津川駅裏地区への水道管の布設や新たな水源の確保、未給水地区解消対策にも取り組む必要があります。

【基本事業】

4-8-1 上水道事業の確立

老朽化した水道管の更新やダム建設による水源の確保など、安全で良質な水道水の安定した供給体制を確立することはもとより、健全で効率的な上水道事業の経営を推進する観点から、水道事業としての業務の一部を民間に委託することも検討し、町民生活の変化に対応し、その利便性を向上させる取組みを推進します。

基本事業	主要事務事業
上水道事業の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林環境保全事業（再掲） ・ 県営ダム建設事業の促進（再掲） ・ 老朽管更新事業 ・ 機械装置更新事業 ・ 健全で効率的な上水道事業経営の推進

